

あなたなら きっと できる!

Yes, You Can

埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園 進路通信 第8号 令和3年3月1日発行

問合せ先：sinnro-soudan@ohmiya-sd.spec.ed.jp

卒業生による進路講演会



2月18日(木)に高等部本科を卒業した先輩と本校の専攻科を卒業した先輩を講師としてお招きし、講演会を行いました。本来は、昨年7月に行う予定でしたが、コロナウイルス感染拡大の影響で延期されていました。延期した2月も緊急事態宣言が発令されている中で開催が危ぶまれましたが、お二人とも後輩の役に立てるならと来校してくださいました。



大学では、積極的に自分の障害について説明をして友達を作ったことや、自分が受ける授業の教授に情報保障について交渉したことなどをお話いただきました。自分が「話せることと聞こえることは違う」ということを相手に「理解してもらうのではなく、知ってもらう」ことが大切だとおっしゃっていたのが印象的でした。

また、コロナ禍でのオンライン授業・就職活動についてもお話いただきました。授業では、遠隔操作を利用したパソコンテイクやUDトークを活用しながら授業を受けているそうです。就職活動では、オンラインでの説明会などが多く、思うように手話通訳士の方を派遣できないためにご苦労なさっているようです。



専攻科の卒業生の先輩は、どのように就職先を決めていったのか、仕事内容のこと、仕事をする上で必要なコミュニケーションについてお話いただきました。

卒業までに身につけてほしい力として「文章力」をあげていました。社内、社外ともメールでのやりとりが多くなる中で、正しい日本語を使えないことが自分だけの失敗でなく、企業全体に影響を与えてしまうとおっしゃっていました。

また、手話でコミュニケーションをとれるろう者同士であっても、手話のマナーを意識していく必要がある。そういうことにも気をつけてほしいとおっしゃっていました。

お二人からのメッセージは...

- ・自分とちゃんと向き合おう!
- ・自分から動こう!
- ・失敗してもいいからどんどん挑戦しよう!
- ・自分という存在をアピールしよう!
- ・思いっきり楽しもう!

- ・自分がどんな仕事に就きたいのか、そのためには何が必要かを考えて一歩一歩進めていってほしい。
- ・途中で壁にぶつかったとしても一人では悩まず誰かと相談しよう。
- ・コロナが終息するまでまだまだ時間がかかるだろうけど、コロナに負けずに体調に気をつけて頑張っていこう!

緊急事態宣言の中・・・

緊急事態宣言が発令されている間は、埼玉県全体として高等部1・2年生が現場実習や見学に行くことができない状況です。本来であれば、高等部2年生までに全員が現場実習を経験し、働くことを体験することで進学か就職かを決定するための手立てにしています。それができない状況なので自分の進路について不安が大きいと思いますが、自分をよく知り、自分はどんなことを目標に卒業後は進んでいくのか、そのためにはどんな力が求められるのか?資料請求をしたり、企業や大学のHPを調べたり、先輩に話を聞いたりするなどして自分で動くことを進めてください。